

V 章 調査研究・学会発表実績

1 保健所調査研究事業

地域（市町村、保健所管轄区、二次医療圏等）での地域保健・福祉活動や事業を通して得られた情報や保健・衛生・福祉統計等の各種統計資料等に基づき、地域の健康課題を総合的に把握し、施策化への反映や効果的な事業を展開することによって、地域保健・福祉の充実強化を図ることを目的として実施している。

事業名	地域で取り組む「夢を育む思春期保健」推進事業																									
実施期間	平成23年6月1日～平成24年3月30日																									
目的	<p>学校・家庭・医療・行政が一丸となって思春期保健支援ネットワークを構築し、男女が協力して家庭を築き、子どもを産み育てたいと思うこと、またその希望を実現することができるよう地域社会の環境整備を進める。</p> <p>もって高校生などの思春期世代が、将来、次世代を担う子どもたちを健やかに産み育てるための生きる力を身につけることができる。</p>																									
実施方法	<p>(1) 母子保健データ分析 若年の出産・中絶状況、結婚から出産までの期間等</p> <p>(2) 思春期保健支援ネットワークの構築</p> <p>①各高校事前ヒアリング 2校/8校中終了 他に宇佐市立西部中学校 工科短期大学校実施済み</p> <p>②養護教諭・家庭科教諭等との連絡会の開催 1回実施済み</p> <p>③思春期地域支援者ネットワーク会議の開催 2回実施済み</p> <p>(3) 夢を育む思春期保健調査</p> <p>①夢を育むこことからの健康アンケート 実施期間：平成23年11月～12月 対象：高校の生徒及びその親 1校 200組 生命と看護の授業実施校（中学校）の生徒及びその親 2校 535組</p> <p>内容：親子の関係性、生きることの意識、性に関する知識、自尊感情、こころや気分の状態等</p> <p>※アンケート項目は世田谷区保健所実施の思春期世代に対するこことからのアンケート調査を参考</p> <p>②出前講座前アンケート 西部中・工科短期大学校については性に関するアンケート実施 工科短期大学校については生活についてのアンケート実施</p> <p>(4) 夢を育む思春期保健出前講座の実施 対象：モデル校（4校）</p> <table border="0"> <tr> <td>①</td> <td>7月15日</td> <td>宇佐市立西部中学校</td> <td>3年生</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>9月7日</td> <td>大分県立工科短期大学校</td> <td>1・2年生</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>9月28日</td> <td>中津市立三光中学校</td> <td>1・2・3年生</td> <td>171人</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>10月17日</td> <td>宇佐市立西部中学校</td> <td>2年生</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>12月8日</td> <td>大分県立中津北高等学校</td> <td>1年生</td> <td>200人</td> </tr> </table> <p>内容：命の大切さ、子どもを生み育てる意義、性教育 食育 等</p> <p>①③④⑤については実施後の感想を記入</p> <p>(5) 夢を育むふれあい子育て体験 実施期日：平成24年1月19日 対象：モデル校 大分県立中津北高校2年生 1組 38人 内容：親・乳幼児とのふれあい体験 参加サークル9ヶ所 親子50組</p> <p>(6) 地域全体で取り組む思春期保健教育プログラムの作成及び思春期健康支援手帳（北部圏域版）の作成（所内プロジェクトチームで検討） プロジェクト開催回数：3回（8/26 10/7 11/2）</p>	①	7月15日	宇佐市立西部中学校	3年生	128人	②	9月7日	大分県立工科短期大学校	1・2年生	166人	③	9月28日	中津市立三光中学校	1・2・3年生	171人	④	10月17日	宇佐市立西部中学校	2年生	120人	⑤	12月8日	大分県立中津北高等学校	1年生	200人
①	7月15日	宇佐市立西部中学校	3年生	128人																						
②	9月7日	大分県立工科短期大学校	1・2年生	166人																						
③	9月28日	中津市立三光中学校	1・2・3年生	171人																						
④	10月17日	宇佐市立西部中学校	2年生	120人																						
⑤	12月8日	大分県立中津北高等学校	1年生	200人																						
結果及び考察	<p>出前講座については、学校からの要望を受けて中・高・大と各年齢層に対して、内容を変えて実施。生きる力を獲得する視点で内容を検討・実施した。特にいのちの大切さを実感していただくことに力点を置いたことで、対象者の反応はよかった。また、高校教諭との連絡会を契機にPTA役員への出前講座の機会をいただくなど波及効果が出ている。助産師・育児サークルと学校との関係もでき、次年度に?がる活動となった。</p> <p>しかし、自分の体や健康を大切にしたいと思わない中・高生が全体の4%を占め、保護者の中にも性行動等に好ましくない回答をした方もいることを考慮し、生徒と保護者の両サイドからアプローチしていく必要がある。</p>																									
事業の実施結果を踏まえた今後の取組み	<p>平成24年度は、平成23年度の成果をもとにさらに事業を発展させていく。出前講座の実施校を増やすとともに、PTA等保護者へのアプローチを進めていきたい。</p>																									

2 その他の調査研究事業

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名 （発表者名）等
第70回 日本公衆衛生学会	<p>題目： こんにちは赤ちゃん訪問の効果と今後の課題</p> <p>論旨： 「こんにちは赤ちゃん事業」を実施している保健師及び助産師が、対象者の個々のニーズを把握し、そのニーズに応じた援助ができていないかを対象者の母親及び訪問しているスタッフに調査を実施。こんにちは赤ちゃん訪問の評価を行い、今後の課題について検討した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 江藤 聖美 深田 郁 力徳 広子 中野 洋子
	<p>題目： ヘルシースタートおおいた推進事業の効果と保健所の役割について</p> <p>論旨： 平成20年度からヘルシースタートおおいた推進事業に取り組み、保健・医療・福祉の代表者による地域専門部会で、これまでの取り組みを3つの視点（情報収集・得られた情報への対応・情報提供）でライフステージ毎に整理した「情報提供・収集ガイドライン」を作成した。ガイドラインの活用を促すことで、各関係機関の役割の明確化と連携の強化を図っているが、事業の取り組みを評価するために、各関係機関に聞き取り調査を行い、事業の効果と親子保健における保健所の役割について検討した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 深田 郁 江藤 聖美 力徳 広子 中野 洋子
第57回 大分県公衆衛生学会	<p>題目： 人工呼吸器装着乳児の在宅支援における地域力向上の取り組み</p> <p>論旨： 人工呼吸器装着乳児の事例を通して、退院前から在宅生活移行後の保健所の行った支援の有効性について分析した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 深田 郁 松原 麻夏 江藤 聖美 力徳 広子 中野 洋子 山下 剛
	<p>題目： 母子保健指導スキルアップ事業の効果と今後の課題 ～こんにちは赤ちゃん訪問の満足度調査の結果から～</p> <p>論旨： 平成22年度に「こんにちは赤ちゃん事業」を実施する保健師及び助産師が、対象者のニーズに応じた援助ができていないかを評価するために、対象者の母親及び訪問スタッフへの調査を実施している。その調査結果に基づいた課題解消のために研修会を実施し、研修会終了後に、平成22年度と同様の調査を行い、その事業効果と今後の課題について検討した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 方徳 広子 深田 郁 松原 麻夏 江藤 聖美 中野 洋子 山下 剛
	<p>題目： 公衆衛生的視点に基づいた情報の収集・集積・発信 ～腸管出血性大腸菌（O157）集団感染事例から～</p> <p>論旨： 平成23年に発生した集団感染事例における保健所の対応記録から、対象者毎に実施した保健師活動、事例の特徴、成果を抽出し、保健師の役割・能力について考察した。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 原田 亜衣 吉田 知可 後藤 芳子 中野 洋子 山下 剛
	<p>題目： 豊後高田地域の乳幼児歯科の現状と課題について ～幼稚園および保育園の聞き取り調査から～</p> <p>論旨： 歯科保健検討会で地域のネットワークづくりに取り組んでるが、検討会の中で幼稚園・保育園の歯科保健対策の実態を知る必要があるという意見が出され調査を実施した。その結果、市の歯科健診だけでは把握できない就学までの幼児期の虫歯の状況や園での取り組み状況等が明らかになり、新たな課題が見いだされた。</p> <p style="text-align: right;">（豊後高田保健部）</p>	○ 中根 美由紀 泥谷 治美 加来 理香 遠入 玲子
	<p>題目： 小児慢性特定疾患児の災害時支援体制の充実に向けた取り組み</p> <p>論旨： 小児慢性特定疾患児は、災害発生時に保護者と離ればなれになった場合、迅速かつ適切な医療を受けることが困難になると考えられる。そこで、緊急（災害）時お願いカードを作成し、保護者に災害時などの事態に備える意識づけをすることともに、関係機関に情報提供するためのフェイスシートを作成し、保健所に保管する等、児の治療継続と避難所での療養生活の保障のために情報収集と提供体制を整備したので報告する。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 松原 麻夏 深田 郁 江藤 聖美 力徳 広子 中野 洋子 山下 剛

平成23年度 食品衛生監視員、と畜 食鳥検査員、狂犬病 予防員研究発表会	<p>題目：管内の大規模食鳥処理場における高病原性鳥インフルエンザ防疫体制の構築</p> <p>論旨：数年前から社会的問題にまでなっている高病原性鳥インフルエンザについて、防疫訓練がなされていない食鳥処理場を対象に対応フローの作成やそれに基づくシュミレーションを実施</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	○宇都宮 公平 (渡辺 徹)
	<p>題目：腸管出血性大腸菌O157食中毒事例について</p> <p>論旨：管内で発生した食中毒事件を題材に、汚染経路の特定に苦慮する腸管出血性大腸菌O157について遺伝子解析等も含め検討を行った。</p> <p style="text-align: right;">(衛生課)</p>	○松木 裕子 (森 仁志)
第34回 大分県看護研究学会	<p>題目：効果的な地域保健活動の検討 ～自殺うつ対策事業をとおして～</p> <p>論旨：保健師活動の基本的な考え方である「みる・つなぐ・動かす」の観点で、豊後高田保健部で取り組んでいる「自殺・うつ対策事業」が効果的に展開されているかどうかを評価し、効果的な地域保健活動のあり方を検証する。</p> <p style="text-align: right;">(豊後高田保健部)</p>	○加来 理香 泥谷 治美 中根 美由紀 遠入 玲子